

教科	数学	科目	数学 I	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	EAFL
使用教科書	啓林館『深進数学 I』			使用副教材等	啓林館『深進準拠問題集 定着演習編 Axis 数学 I + A』				

目標	数学 I の内容における数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけるようにする。また、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数学 I の内容における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学 I の内容において、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を備えている。	数学 I の内容における数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を備えている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査(80%) テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) 課題テスト(10%) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査(80%) テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) 課題テスト(10%) 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りノート(80%) テキスト・プリント等の担当教員の指示する課題の提出状況(10%) 授業態度(10%)

担当者からのメッセージ	<p>新学習指導要領では上記3観点を基に評価を行います。評価の際には、定期考査はもちろんのこと、日々の課題への取り組み状況や未知の問題に対する粘り強い学習姿勢、常に自身の学習態度を改善しようとする姿勢が大きく関わってきます。授業を受ける際には、「教員の言葉や指導を傾聴し、常に学習態度の改善に励むこと」、「予習・復習等の家庭学習を継続的に行うこと」を大切に、学習に臨んでください。</p>
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	第4章 図形と計量	第3節 正弦定理と余弦定理
	5	第3節 正弦定理と余弦定理 1 正弦定理 2 余弦定理	【知識・技能】 ・余弦定理における三角形の辺の長さや角の大きさの関係を理解している。 ・正弦定理・余弦定理を三角形の決定条件と関連付けて理解し、的確に使うことができる。
			【思考・判断・表現】 ・正弦定理・余弦定理と三角形の辺や角の大きさの関係を考察することができる。 ・正弦定理・余弦定理を導く過程を考察することができる。 ・三角形の決定条件が与えられたとき、三角形の残りの要素を求めることができる。また、解を吟味して適する解を求めることができる。
	6	第4節 図形の計量 1 図形の面積 2 図形の計量	第4節 図形の計量 【知識・技能】 ・三角形の公式の意味を理解している。 ・平面図形や空間図形の計量に、三角比や正弦定理・余弦定理などを利用することができる。 【思考・判断・表現】 ・3辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。 ・三角形の面積や三角比を平面図形や空間図形の計量の考察に用いることができる。 ・三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。
	7		
	8		

9 10 11 2 12	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析 1 度数分布表とヒストグラム 2 データの代表値 3 データの散らばりと四分位数 4 分散と標準偏差 5 データの相関と散布図 6 相関係数 7 相関と因果関係 8 仮説検定の考え方	第1節 データの整理と分析 【知識・技能】 ・代表値としての平均値、中央値、最頻値を理解している。 ・代表値、四分位数、分散などのデータに関する用語とヒストグラムや箱ひげ図の関係を理解している。 ・散布図および相関係数の意味を理解している。 ・相関係数の意味を理解した上で、その値を求めている。 【思考・判断・表現】 ・整理された表、図、値などからその特性や法則性を的確にとらえることができる。 ・代表値、四分位数、分散などのデータに関する用語とヒストグラムや箱ひげ図の関係を考察することができる。 ・データの満たす条件から、未知のデータの値を求めることができる。 ・散布図より全体の傾向から外れたデータの値がある場合には、相関係数とその値に影響されていることに気づくことができる。 ・2つの変量の相関係数を求めることができる。 ・相関と因果関係について考察することができる。
1 2 3 3	第2節 統計的探究プロセス	第2節 統計的探究プロセス 【知識・技能】 ・データの分析を身の回りの問題に活用する方法について理解している。 ・PDCAサイクルのそれぞれのプロセスや具体的な手順について理解している。 【思考・判断・表現】 ・身のまわりの問題について、データを収集・分析することで解決策を見いだそうとする